



5歳男児。急に高熱が出て、

のどの痛みがあり、目が赤くなっています



高熱、のどの炎症、結膜炎の

3つの症状がある場合には、咽頭結膜熱という病気があります。毎年6月頃から流行が始まり、7～8月にピークを迎えます。別名は、プール熱とも呼ばれますが、プール以外でうつることもあります。

最新の国立感染症研究所の統計では、今年はずでに流行が始まっています。原因ウイルスはアデノウイルス3型。潜伏期は5～7日で、通常は3～5日症状が続いて治ります。

幼児から学童

にかけてかかり

ます。のどの痛みで食事がとれなくなることがありますので、水分は十分にあげて脱水を防ぎましょ

咽頭結膜熱（プール熱）…今年も流行開始

う。かんきつ類は避け、のどにやさしい飲み物を。高熱が続くこともあります。抗生物質は無効です。

感染経路は、飛沫感染か、手指を介した接触感染で、目やに、あるいは唾液からの感染です。プールを介した場合には、汚染した水の可能性もあります。

予防は、密接な接触を避けること、流行時にうがいや、手指を流水と石けんで洗うことです。プールを介しての流行に対しては、水泳前後のシャワーなど

一般的な予防方法の励行を。

ウイルスは、のどからは7～14日間、便からは30日間排泄されませんが、登校（園）は症状が



子育て相談室

消失して2日経ったら可能です。〈水戸市中丸町の平野こどもクリニック 院長・平野岳毅〉